

バス以外の「新たな交通手段」について

少子高齢化の進展などにより、バス運転手の減少と高齢化が深刻化するとともに、通勤・通学のバス利用者の減少も想定され、今後、**新規にバス路線を拡大・拡充していくことは非常に困難な状況**となっています。

そこで足立区では、日常の移動に関する不便を感じる方が多い入谷・鹿浜周辺地域へ**バス以外の「新たな交通手段」導入の必要性等を検討**しています。

◎バス以外の「新たな交通手段」の事例

「新たな交通手段」として、既に他自治体で導入されている車両には、次のようなタイプがあります。

	①タクシー型	②ワゴン車型	③電動カート型
車両タイプ	 <p>柏市「カシワニクル」</p>	 <p>葛飾区「さくら」</p>	 <p>港区、横浜市</p>

運行タイプには、バスのような「定期運行型」と、タクシーのような「デマンド型（利用者のニーズに対して柔軟に運行する交通システム）」があり、それぞれ下表のようなメリット・デメリットがあります。

	一般的な特徴	メリット	デメリット
定期運行型	バスのように利用者の有無にかかわらず、 決まった時刻に決まったルート を運行し、利用者は所定の停留所で乗降する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃はバスと同額程度（一般的に片道 200 円程度） ・事前登録や事前予約は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から所定の乗降場所まで徒歩等で移動が必要 ・利用者の有無が事前に把握できないため、常時運行となる
デマンド型	利用者からの事前予約があった場合のみ 運行し、利用者は登録された場所で乗降する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から乗車可能であり、主要な施設に直接移動可 ・事前予約が無い場合は運行しないため、経費の無駄が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃が定期運行型より高価（一般的に片道 300 円～500 円） ・利用する場合、事前登録や事前予約が必要

これまで、町会・自治会を中心にヒアリングを進めてきた結果、入谷・鹿浜地域で挙げられた意見からは、以下の特性が見られました。

日頃利用する駅やバス停、近隣のスーパー、病院など目的地が広域に渡って点在しており、**バスのような定期運行型では運行距離が長くなり、定時制や採算性が劣る可能性が高いこと**

自家用車を所有しているため、公共交通の利用頻度自体が少ない方も多い

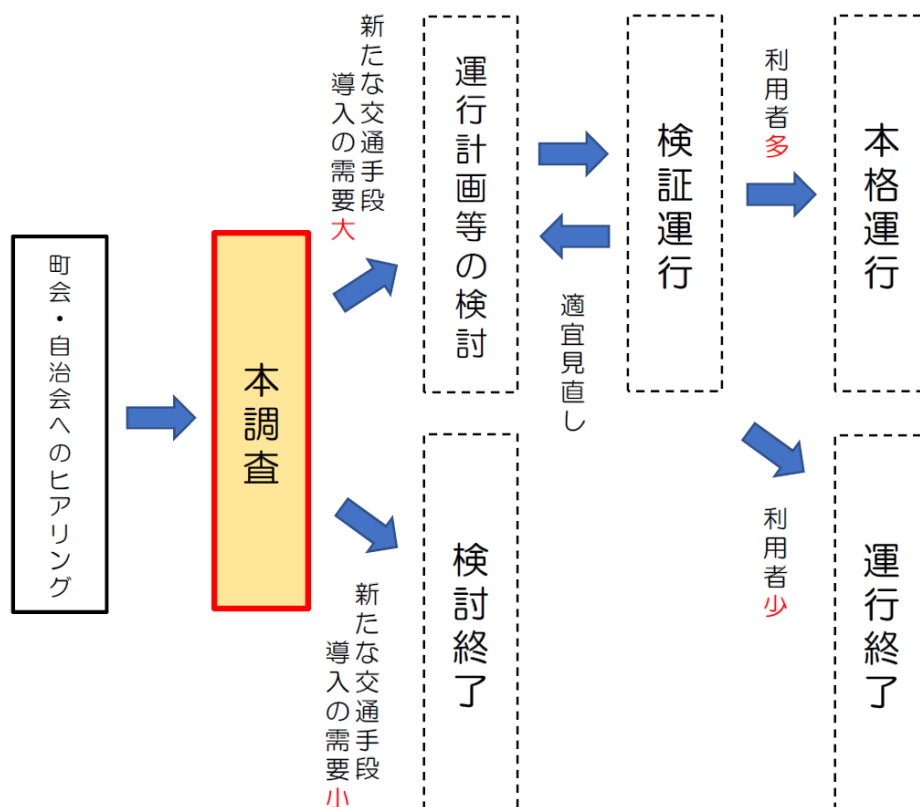
高齢者からは、足が悪く、駅やバス停まで遠くて大変という意見が多い



利用したい方が、利用したい時に、自宅から乗車できる、**タクシーに近い交通手段が入谷・鹿浜地域の需要に合っているのではないかと**考えられます。

◎ 今後の進め方のイメージ

本調査にて、地域のみなさまから、新たな交通手段に関する需要の調査を行い、導入の必要性等について検討していきます。



◎ 検証運行（実証実験）のイメージ

入谷・鹿浜周辺地域の需要に合った「タクシーに近い交通手段」を導入している自治体は多く、その事例を参考に、入谷・鹿浜周辺地域で検証運行を行う場合、以下のような条件での実施を想定しています。

※あくまで検討中のものであり、今後、変更となる場合があります。

特徴① 一般的なタクシー車両を使用

「新たな交通手段」は、近隣のタクシー事業者が運行することを想定しており、基本的にはその事業者が保有しているタクシー（ハイヤー）車両を使用することになります。



特徴② 事前登録、事前予約をした方がのみが利用可能

新たな交通手段は入谷・鹿浜地区にお住まいの方で、事前に利用者情報（住所、氏名等）の登録を行った方のみご利用いただけます。また、利用の際は電話等で事前に予約をする必要があります。

他の利用者との乗り合いはありませんが、予約が集中した場合、利用できない可能性があります。



特徴③ 自宅付近から入谷・鹿浜地域内の主要施設を結ぶ

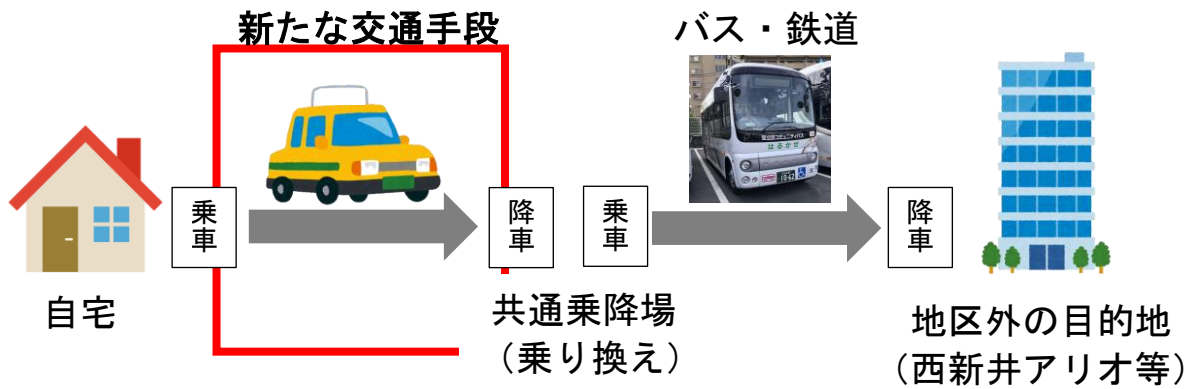
新たな交通手段は、基本的に自宅付近から共通乗降場まで運行します。自宅以外の共通乗降場は、入谷・鹿浜地区内の公共施設（区民事務所など）、商業施設、病院、主要なバス停、鉄道駅を設定することを想定しています。

自宅からではなく、共通乗車場間の移動も可能です。

運行例	自宅⇔博慈会記念総合病院、自宅⇔舎人公園駅、住区センター→スーパー
-----	-----------------------------------

※ 共通乗車場については、利用状況や要望等を踏まえ、増やしていく予定です。

なお、入谷・鹿浜地区の外へ移動する際は、共通乗降場で既存のバスや鉄道に乗り換える必要があります。



地区外への移動のイメージ

特徴④

片道運賃はバスとタクシーの中間程度

新たな交通手段の運賃は、他自治体の事例を参考に、大人一人あたり片道 300 円から 500 円程度とすることを想定しています。なお、バスではないため、東京都シルバーパスはご利用になれません。

※ 通常のタクシー料金との差額は、足立区が負担することになります。

利用料金 / 運賃

一律の運賃となります。

1人1件あたり

次に該当する方及びその介助者

- 70歳以上
- 要介護・要支援の認定を受けている方
- 障害者手帳をお持ちの方
- 難病の受給者証をお持ちの方
- 妊娠中の方

300円

※「ひなちゃんタクシー利用登録証」、または手帳や受給者証など、証明できるものを提示してください。介助者は運転手に申し出てください。

一般 500円	小学生・中学生 200円	未就学児 無料
------------	-----------------	------------

割引 ● 運転経歴証明書を提示した場合 運賃が100円引きになります。

例：このす乗合タクシー（鴻巣市）の運賃設定

「入谷・鹿浜周辺地域の交通に関するアンケート票」の問7以降は、上記の条件で新たな交通手段の検証運行を行う場合を前提として、各設問にお答えください。